

旧北上川河口かわまちづくり検討会資料

かわまちづくり・景観検討の
進め方について（案）

東北地方整備局 北上川下流河川事務所

旧北上川河口かわまちづくり検討を進めるにあたって

1. 背景

- ・「北上川水系河川整備計画[大臣管理区間](H24.11)」においては、地域住民が安心して暮らせる社会基盤整備を図るとともに、地域の個性と活力、歴史や文化が実感できる川づくりを目指すものとし、基本理念として、「豊かな自然環境と河川景観の保全・創出」をあげている。
- ・東日本大震災により甚大な被害を受けた石巻市は、復旧、復興を実現していくための「石巻市震災復興計画」を策定。既に策定していた水辺を活かす「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画(H23.2)」についても、復興計画に基づく土地利用や新たな拠点、活用できる観光資源、復興街づくりを踏まえ、平成25年3月に計画を改訂している。
- ・災害復旧においては、これらの関連計画との調和を勘案し、まちに賑わいを取り戻し、市民の集いの場、憩いの場となる水辺空間の整備を図るものである。

2. 検討を進めるにあたってのポイント

- ・災害復旧事業に関わる制約条件(堤防・護岸の基本構造、用地幅等)も踏まえ、景観への配慮事項、ポイントを整理する。
- ・「いしのまき水辺の緑のプロムナード計画」、関係機関の災害復旧計画等との連携を図る。
- ・ワークショップ開催等による市民の意見・地域のニーズを把握する。
- ・旧北上川の歴史、文化、社会的特性などを踏まえる。

- ・川づくりの基本的な方向性及び景観への配慮方法について、検討会より指導、助言を頂く。
- ・なお、具体の修景方法や、構造に係る詳細な事項については、専門家の委員により構成する「ワーキングチーム」により、とりまとめを行い、検討会に報告を行う。

【地域の計画等との調整】

- ・石巻市震災復興基本計画、いしのまき水辺の緑のプロムナード計画、他機関復旧計画(道路、港湾、下水等)
- ・地域の意見、ニーズ

【国土交通省】

河川海岸構造物の復旧における景観検討会
「河川・海岸構造物の復旧における景観配慮の手引き」

宮城県沿岸域河口部・海岸施設復旧における環境等検討委員会 「宮城県沿岸域河口部・海岸施設復旧における環境等への配慮の手引き」

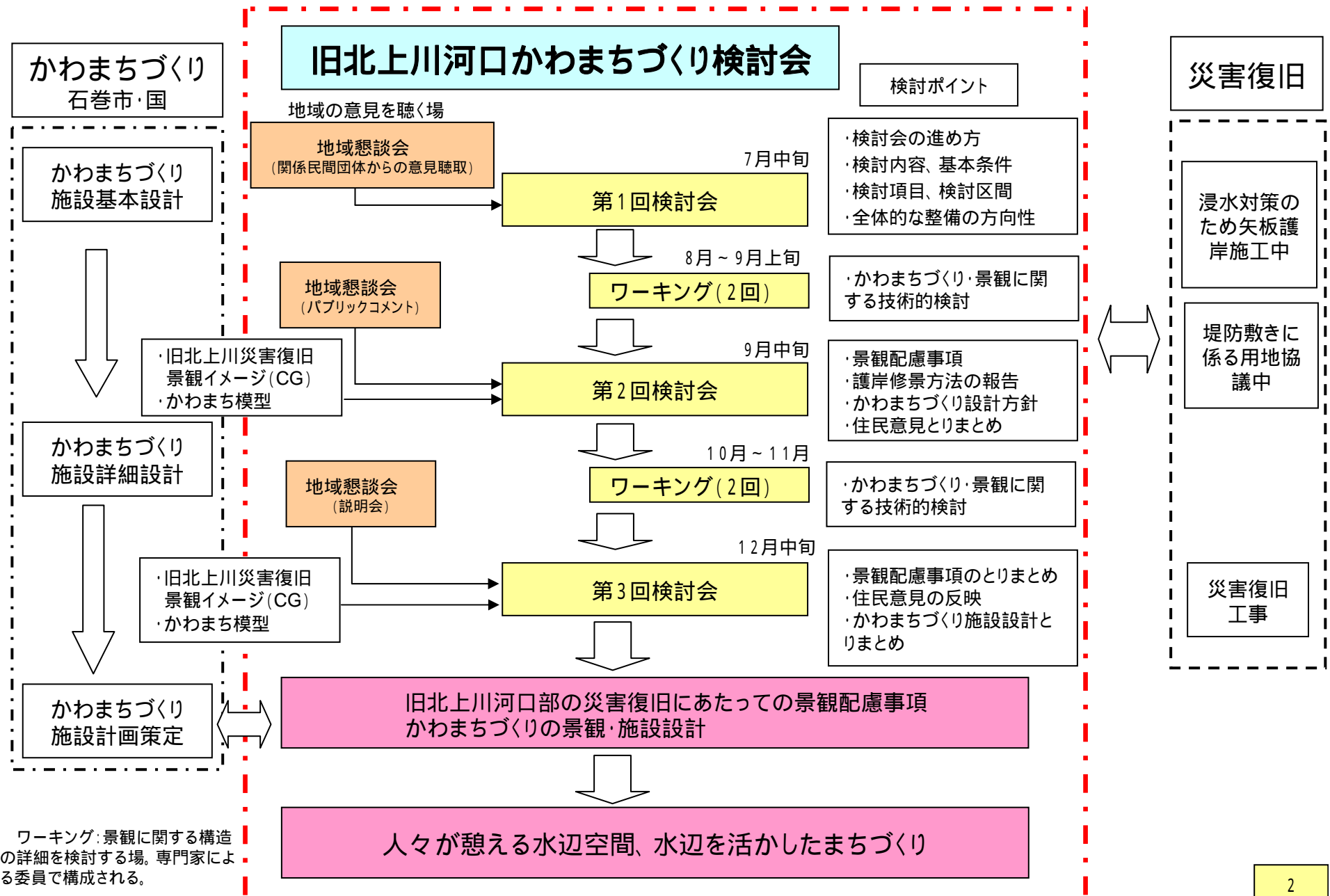
景観・環境への
配慮事項

旧北上川河口かわまちづくり検討会 【ワーキングチームによる検討】

景観等配慮した具体の施設の配置や構造について、専門家より指導・助言

旧北上川災害復旧事業・かわまちづくり

旧北上川河口かわまちづくり検討会全体スケジュール(案)

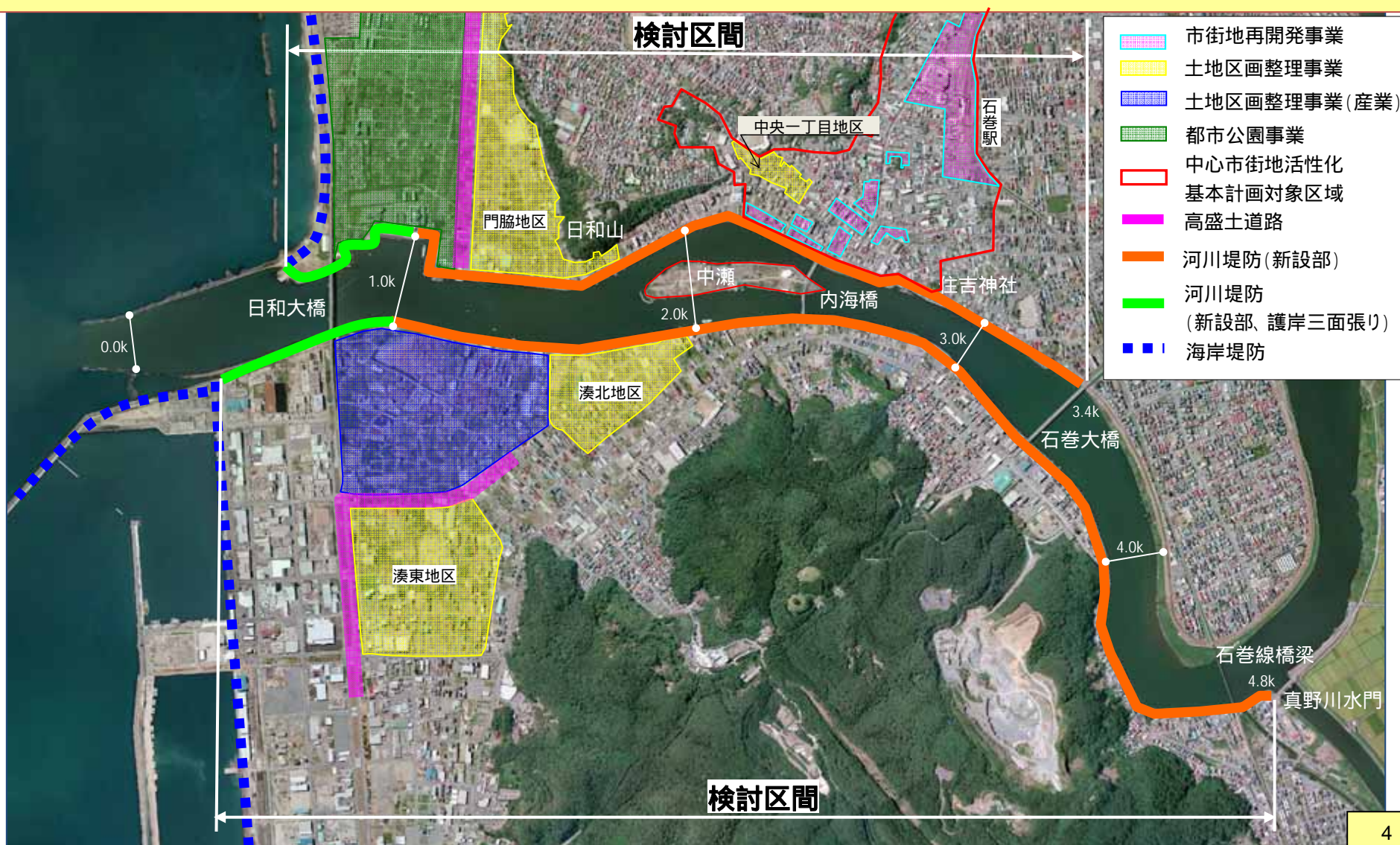


検討スケジュール(案)

項目	H24年度	H25年度												H26年度	備考	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月以降		
プロムナード 計画																石巻市
かわまちづくり 検討会					第1回 7/22		第2回				第3回					国・石巻市
(かわまちづくり) 検討会 ワーキング						第1回	第2回	第3回	第4回							
かわまちづくり 詳細設計							概略設計					詳細設計				国
工事工程	綱矢板打設													国		
						護岸	笠コン、捨石、背面盛土								築堤	

旧北上川河口かわまちづくり検討範囲

旧北上川河口かわまちづくり検討会での検討範囲としては、新たに堤防を整備する区間を対象とする。
(右岸：河口～石巻大橋、左岸：河口～真野川水門)



『まちなか創生協議会』における意見等

(参考)

<全区間共通>

- 水との距離の近さというのがとても大事である。景観として美しいものが必要である。
- 堤防を生かした街づくりが出来れば良いと考える。花と緑に囲まれた堤防。堤防から街並みへと統一性あるデザインが必要である。例えば、色や建築様式等。
- 川辺のロケーションを良いものにしていく考え方は良いと思う。一方で、川から少し街なかに、入ってしまうと堤防しか見えない形になってしまうのは、良くない。川辺のロケーションとの整合性が必要。
- 市民の方が川辺に触れて慰霊の意味も込めた灯籠流しを行う観点からも堤防で分断されることなく、川と触れ合う事の出来る空間の整備が必要。
- 旧北上川全体の堤防、橋、道路等の整備計画を国、県、市で一つに重ねた図面で提示して頂いた上で議論を行った方が良い。そうして、全体をイメージしながら検討すべき。
- 新しく堤防が出来る範囲周辺、全員が入る様な組織が必要なのではないか。今ある組織の中だけ議論していると整備が虫食い状態になってしまう。

<中央、住吉地区>

- 石巻駅から漫画館に行くまでの回遊の観点から考えると、堤防背後地の利用について他の地域にはない、石巻独特の整備がされる事を望む。
- 一つ目は、水辺プラザとしての旧北上川河口部右岸の整備。これまで船着き場を中瀬や住吉神社の下流等につけて利用してきた。その復活が絶対必要である。河川敷に車を入れるように整備してほしい。二つ目は堤防の法面の部分が無駄な空間となる。堤内地のその部分の有効活用できる整備を民間で行うのは難しいので、行政で整備してほしい。
- 住吉公園はどんと祭等が行われており、市のメイン行事として考えられている。公園が堤防用地に入っているが、今後も行事を行えるようにする方向で協議中。

<川口、湊、八幡地区>

- 湊地区が何も計画されていない。両側を整備して初めて、旧北上川の堤防を生かした街づくりになるのではないかな。

協議会 : まちなか創生協議会 第22回街並み部会
実施日 : 平成25年6月20日 15時00分～16時50分
メンバー : まちなか創生協議会 会長以下16名
協議会以外8名 (住吉地区住民、みらいサポート石巻、セイブザチルドレン、街づくりまんぼう)